

平成27年度第1回(通算51回)ソフィア発見講座(報告)

実施日 平成27年9月30日(水) 18:30~20:00

会場 磐周教育研究所 大会議室

テーマ 「ミュンヘンの暮らしと学校」

講師 平川 真 先生(掛川市立城東中学校長)

### 1 主催者挨拶並びに講師紹介

活動推進委員会副委員長 太田 英彦 (浅羽北小)



ソフィア発見講座は、「子どもたちの指導に当たる教員が一層豊かな経験をするために行われている」。今回は、「ミュンヘンの暮らしと学校」という演題でお話いただくことになった経緯に触れ、次のように、講師の平川先生を御紹介されました。

「平川先生は、袋井東小学校、森、袋井の中学校、静西教育事務所での勤務の後、ドイツミュンヘン日本人国際学校を経て、本年度掛川市立城東中に勤務されています。本日は、ドイツに住んで感じたことやミュンヘン日本人国際学校で経験されたことを「写真」等を元にお話しくくださるそうです。」

### 2 平川先生のお話 (民族衣装・・・ビール祭りの格好で登場)

○ミュンヘンと聞いて思い浮かぶことは、・・・

ビール、ソーセージ、サッカー、お城、難民問題、等々。

○ドイツと日本の関係は、・・・

日本は世界で62番目、ドイツは63番目の国土の広さ。夏時間で7時間の時差がある。飛行機で12時間。ミュンヘンは、南ドイツ。バイエルンの人々は、ドイツ人ではなくバイエルン人だと主張する。

ドイツには、5つの日本人学校がある。ミュンヘン市は、150万人、そのうち日本人は4400人住んでいる。ミュンヘン市は、日本人国際学校も市の校長会に参加することができた。また、ミュンヘン市には、日本語補習校もあり生徒は230人程在籍していた。現地でドイツ人と結婚して子どもに日本語を学ばせたいという家庭が、週休日に、補習校に通わせている。日本企業も富士通、パナソニック、BMWの関係の会社等がたくさんあり、親日的であった。





○ミュンヘン日本人国際学校では  
・

玄関は、富士通が寄付してくれた指紋認証システム（セキュリティ対策）で開閉する。電力は、ソーラー発電（パナソニックが寄付）を使用。学校の周りは、町の真ん中だが自然が多い。タンポポの綿毛が舞う。学校の横の木にもリスがいる。ハリネズミもいる。木の実やイノシシなどの自然のものは、チェルノブイリの影響で食べることはない。

生徒の8割はスクールバスで学校に通っている。4年生以下は、

保護者の責任の下で登下校する。5年生以上はもう個人の責任で登下校。学校の体育館は地下にある。体育館にステージはない。床は、アンモナイトが入っている大理石できている。公共のプールを借りて水泳の授業（水深3メートルのプール）を行う。教師は、現地で「水害救助」の試験を受けないと、水泳指導ができない。この免許をとるのが大変です。自転車教室は、4年生で必ずやらないといけない。運転許可書をもらってから、子どもたちは自転車に乗ることができる。全課程ミュンヘン市の職員が練習を助けてくれる。ミュンヘン日本人国際学校を卒業すると、専門学校を卒業したと同じに扱ってもらえる。3年経つと、ドイツ語検定試験に受かる子もいる。子どもたちは、ドイツ語も英語も覚える。文化祭では、ドイツ語の習熟に応じてグループごとに「くじらぐも」等の出し物を演じる。

修学旅行では、ポツダム会談が行われた場所、ベルリンの壁東側、ヨーロッパー長い城、ミュンヘンオリンピックでイスラエルの選手団が亡くなった慰霊プレートやダッハル強制収容所等を訪れる。

小学校5・6年生は、必ず化石掘りを行う。ミュンヘン市は、羽毛恐竜が見つかった場所である。4年生は、浄水場に見学に行く。ミュンヘン市は、山の水がそのまま水道に流れる。浄水場は、水の検査のためにある。ミュンヘン市は、上質な水が豊富である。

### 3 お礼の言葉（顧問 岩田 敏彦 袋井中校長）

アメリカの日本語補習校に務めていた頃の思い出をよみがえらせていただいた。本物に触れることはとても貴重なこと。私たちが知らない文化や生活を知ることができた。そういうことを知らないと、世界を知ったことにならない。

日本ってどんな国、どんな誇りを持っているかを私たちは、しっかり言えるだろうか。外に出ていろいろなところに行き、触れてこそ、日本がどんなところか再確認できる。「派遣教員」として、苦勞を超えたわくわく感、苦勞に勝るすばらしいものだと感じる。

発見講座は、疑似体験できたいい機会でした。お忙しい日程での御参加、ありがとうございます。派遣教員仲間が増えるといいと思います。

☆ 次回予告 ☆

期日 平成27年11月18日（水）18:00～ 講師 内野 悟先生  
内容 防災関係になると思います（研究所だよりNo.6で連絡）





